

産業基盤への金融

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2024.08.06

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

産業金融

単なる金融を超えて、産業界の特定ニーズに応じた資金供給の工夫を追求するものです。理想的には、金融が産業界に適切な資金供給を行い、産業の発展を支える役割を果たすことを目指し、産業界の資金需要に応じて、資本構成と産業連関の仕組みを整備し、民間の金融機能を強化することに集約されます。

オブジェクトファイナンス

通常の金融は企業に対するものだから、コーポレートファイナンス(corporate finance)と呼ばれる。それに対して、企業の資金調達目的、即ちオブジェクト(object)を対象とした金融がオブジェクトファイナンス(object finance)である。調達目的の代表は設備等の資産の取得であるが、その資産取得目的を独立させて、当該資産だけにかかわる資金供給を行うオブジェクトファイナンスは、アセットファイナンス(asset finance)と呼ばれ、また、設備の建設等の企図(プロジェクト project)を対象としたオブジェクトファイナンスは、プロジェクトファイナンス(project finance)と呼ばれる。広義には、リースもアセットファイナンスの一種である。

資金調達の主体

通常は、事業キャッシュフローを生み出す事業主体は、同時に、資金調達の主体です。企業の発行する社債や株式は、資産の代表例です。しかし、企業ではなくて、資産、プロジェクト、取引なども、独立させて投資対象に構成することができます。これが、コーポレートファイナンスからオブジェクトファイナンスへという新しい潮流です

ブロックチェーン技術

1人の台帳管理者に依存せず、分散したネットワークに共通されている台帳に電子署名の技術を用いて記帳し取引の正確性、信憑性を確保する技術で、この技術を用いることで様々な取引の管理が効率化・低コスト化されることが期待されます。サプライチェーンや取引の自動化・効率化は、貿易金融などの取引に要する時間を補完する投資機会を消滅させることが予想されます。

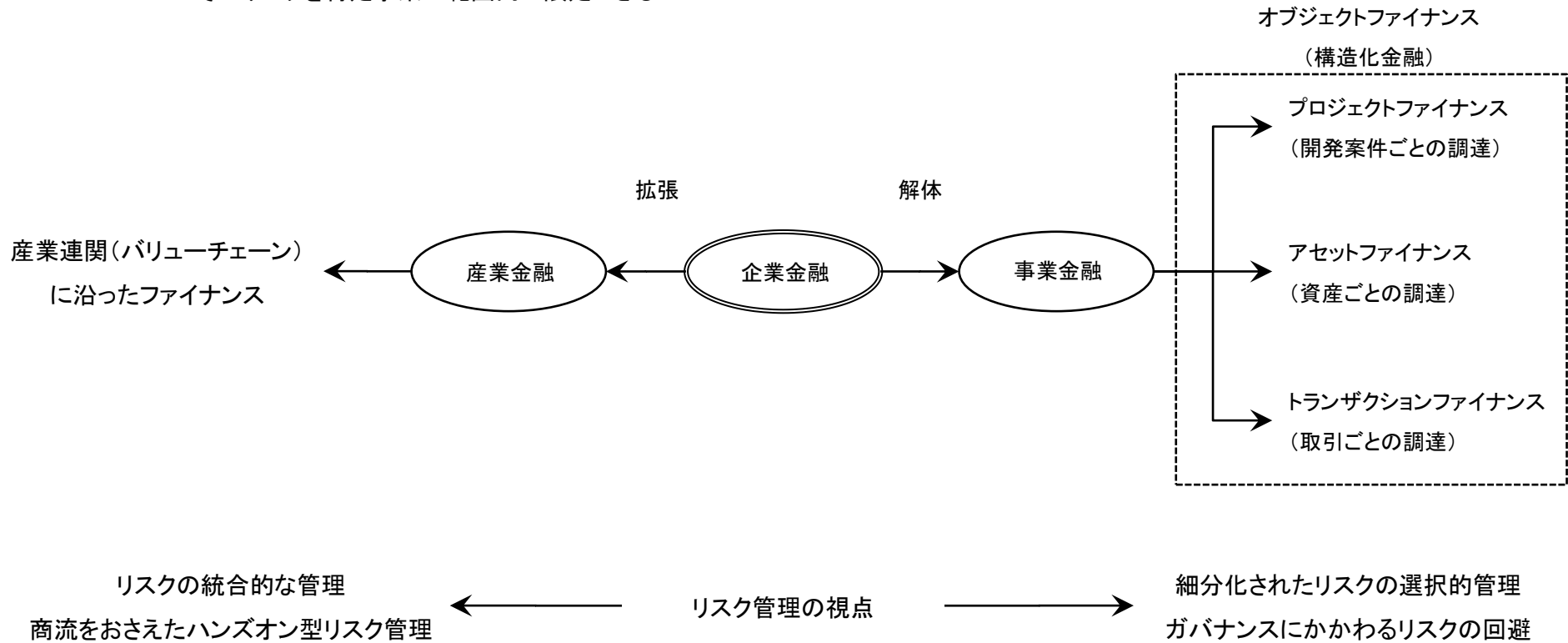
動産・債権担保貸付(ABL/Asset Based Lending)

企業の在庫、売掛金等の流動資産や機械、設備を担保として行う企業向け融資の一形態。担保権の登記を第三者への対抗要件とする。企業は担保資産の状況を定期的に報告する。事業活動に連動する資産を担保とすることで融資に柔軟性があり、返済能力に関する企業との情報の対称性が確保できることで、より安全確実な融資となりえる他、個人保証への依存を減らす効果も期待できる。企業の新たな資金調達の道として、登記制度などの環境整備を通じて政策的に普及促進が図られている。

企業金融から事業金融へ、そして産業金融へ

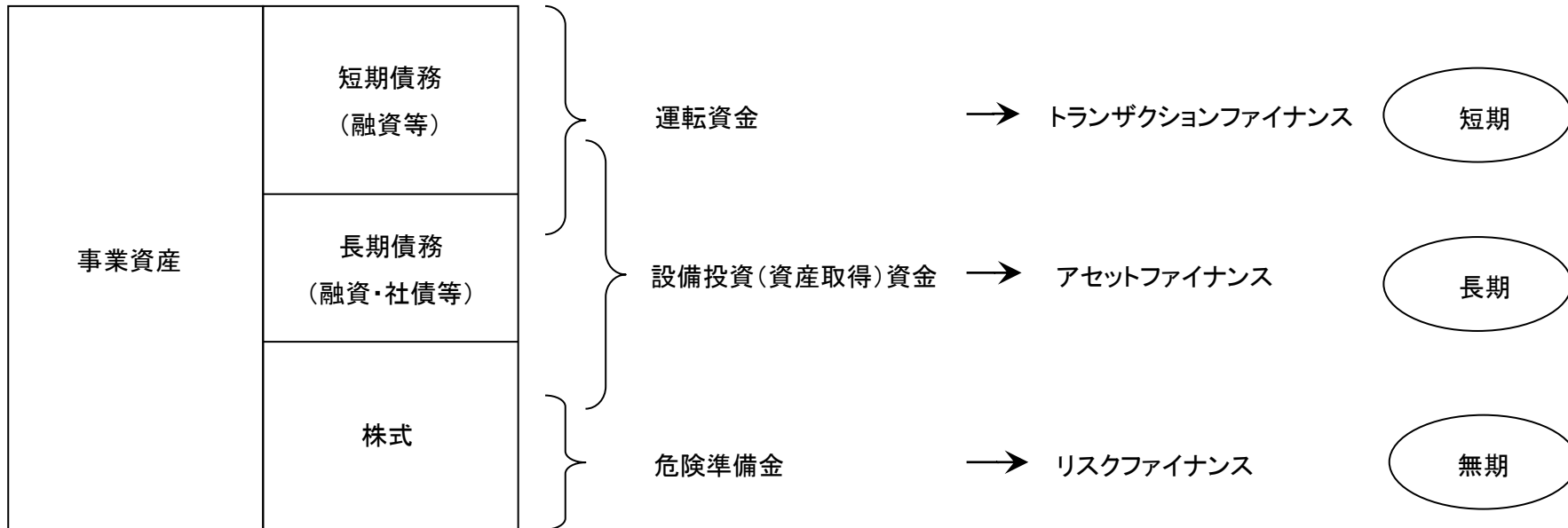
株式や債券・融資などの伝統的な資産は、伝統的な企業金融のあり方を前提にしたものである。その企業金融の構造が変われば、資産の構造が変わるのは自明の理

- 新しい資産が生まれる(いわゆるオルタナティブ)
- リスク管理の視点が変わる
- 企業統治(ガバナンス)の視点が変わる。即ち、伝統的な企業金融では、企業統治こそが最大の、かつ管理困難なリスクだが、事業金融は、そのリスクを特定事業の範囲内に限定できる



伝統金融からオブジェクトファイナンスへ

企業の貸借対照表



伝統的資金調達方法
(オンバランス)



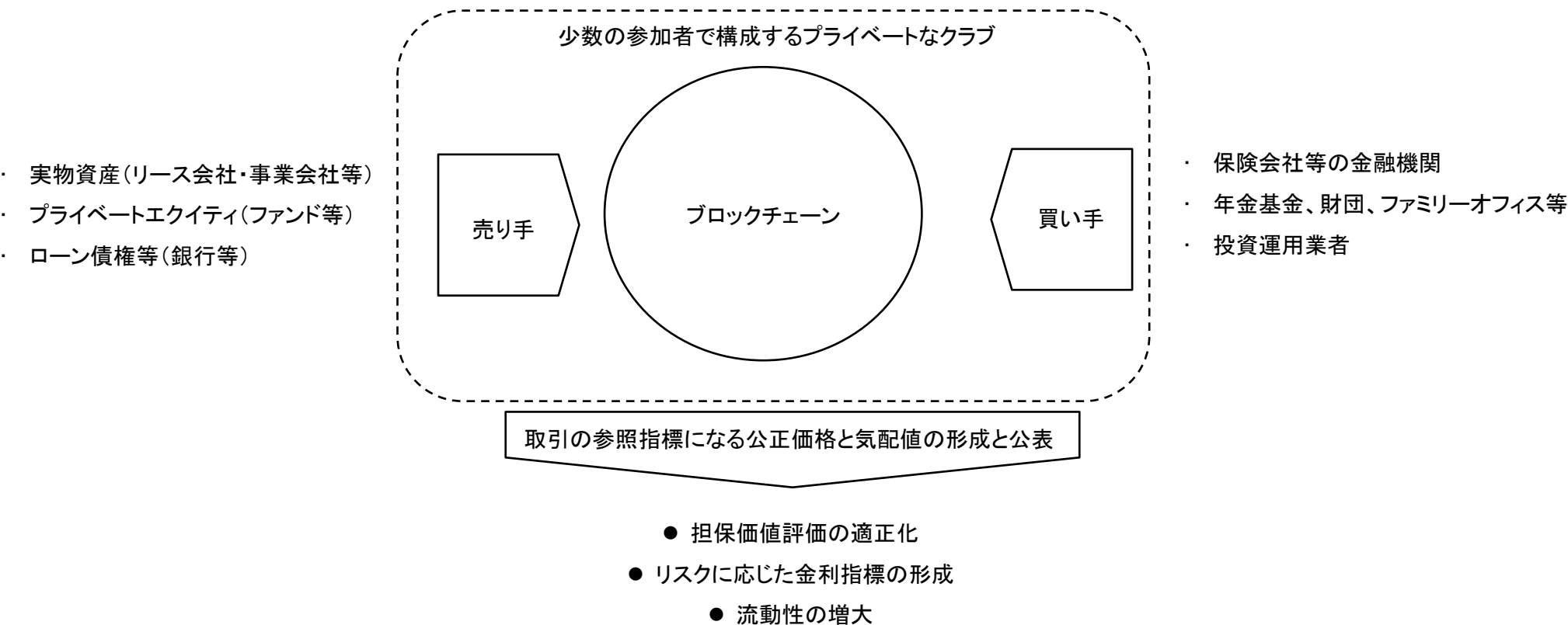
代替的資金調達方法
(オフバランス)
⇒ オブジェクトファイナンス

インベストメント・チェーンの発展

IT技術の発展により、膨大な外部情報を取り込み、人口知能の活用、情報処理の高度化など従来事務負荷の観点から不可能とされていたことが可能となり、既存の金融の枠組みは見直され、オブジェクトファインスへの活用が期待される。

・ブロックチェーン

- ⇒ 1人の台帳管理者に依存せず、分散したネットワークに共通されている台帳に電子署名の技術を用いて記帳し取引の正確性、信憑性を確保する技術。
- ⇒ 暗号通貨であるビットコインの公開台帳を管理するために開発された技術であるが、様々な取引の管理に応用可能。
- ⇒ 容易にコピー可能であるデジタルデータに電子証明を付与することで、資産的価値を付与するNFTなども登場。

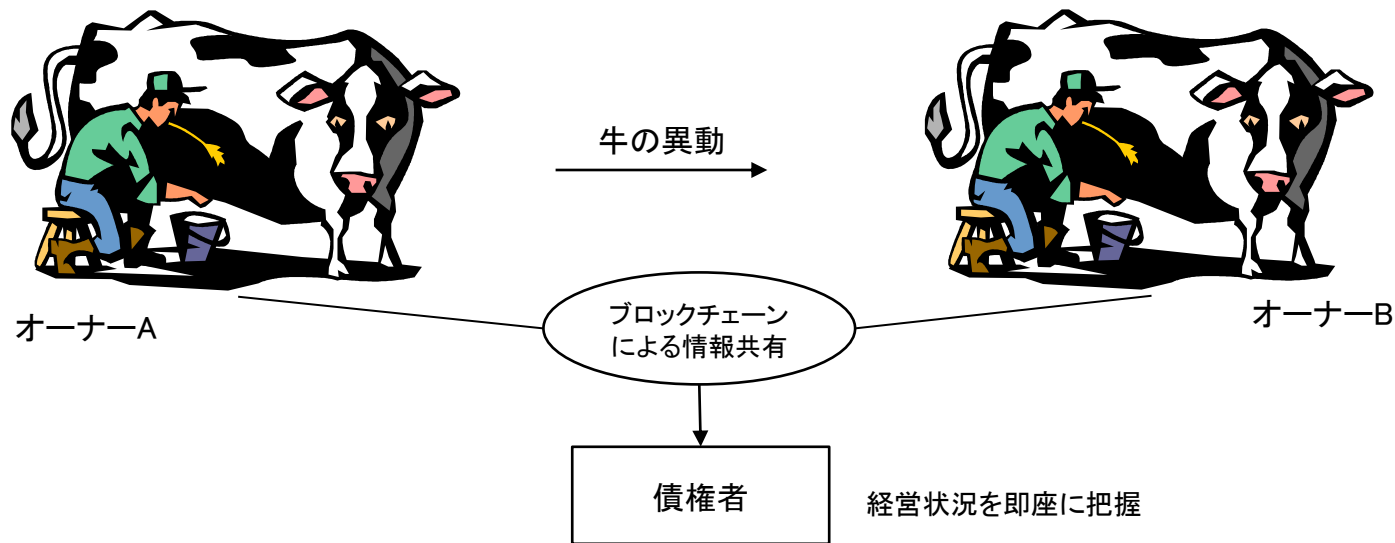


動産担保融資の情報化

- ・情報化により 債権者が債務者の経営状況を即座に把握し、事象発生時に協議することで債務不履行を防止。
- ・不動産担保に比べ、動産担保は事前に経営状況を把握するための情報提供が容易で、早期に問題を察知・対処可能。
- ・飼育牛ABL: 肥育牛は市場価値が確立し、成長に伴い価値が増大する。債権者が牛の異動情報を把握できる仕組み(ブロックチェーン)を整備。



情報の価値を活用により、動産担保融資は単なる担保価値だけでなく、債務不履行を未然に防ぐ役割を果たす



情報化はABLだけでなく、リースにも活用可能で、資産稼働状況の把握が容易となれば航空機リースの新規参入を促進

講演後アンケート

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/zccrJ4juuaXXdMQy6>

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。